

安きに流れるべからず

先週の全校集会では、授業の大切さや真剣に取り組むことの重要性について担当の鬼塚先生からお話がありました。各クラスの様子はどうか。一生懸命に声を出し、先生からの質問に対しても、誠意をもって答える等して、前向きに授業を受けている人がどのクラスにもいます。頑張ってくれている人のおかげで、授業に活気や集中する雰囲気ができています。ちょっとおとなしい人もリードしてくれる人のおかげで声を出すことができます。

残念ながら、そうでない人もいます。注意をすると、「なんで、わたしだけですか」とか「〇〇君もやってないですよ」というような雰囲気が見られることもあります。家では「〇〇ちゃんもしよらんし」とか「みんな勉強しよらんもん」等言ってませんか。生活面でも同じです。決まりを守らず、注意を受けて「自分だけではない」という意識をもっている人がいます。安きに流れているのです。このような姿勢では何事も伸びていきません。自分自身に反省が向けられていないのです。

周りに目を向けると、一生懸命に努力している人が何人もいるはずです。頑張っていない人に基準をもっていくのではなく、頑張っている人の姿勢に近づくように努力していけば、きっと成長するはずです。そして、頑張る姿勢が学級や学校に浸透していくと、自分もそれに乗せられて伸びていくのです。

勉強も部活も生活も、一生懸命に頑張っている人の基準に向かって、それを越えるように努力していかなければならないのです。それが健全な競争です。教室の中に前向きで明るい学び合いができるよう頑張っていきましょう。

授業で前向きな雰囲気をつくるには

- 一、声をはっきり出している人に合わせよ
- 一、顔を上げて話を聞いている人に合わせよ
- 一、真剣に考えている人に合わせよ
- 一、速く、丁寧に書いている人に合わせよ
- 一、質問には必ず答えようとしている人に合わせよ
- 一、指示にすぐに従っている人に合わせよ

一生懸命やっている人に合わせよ